

(33) 人事

① 重点的に取り組んだ課題や改善事項等

- ・ 大学教員の人事について、次年度の教員配置に関する要望の募集を行い、学長及び人事担当副学長を中心に「大学教員人事計画の策定に係る基本方針及びその運用」に照らして慎重に検討が行われ、人事執行部連絡会（学長、理事及び副学長で構成）での協議を経て、令和4年度及び令和5年度の大学教員人事計画改定案を策定した。同人事計画改定案は、教育研究評議会で審議・決定され、同人事計画に基づき大学教員の人事を進めた。
- ・ 学長が、第4期中期目標計画期間における教員人事計画を定めるとともに、中長期的に目指すべき理想の年代構成、職位構成に関する目標を策定した。また、現行の大学教員の人事方針を国立大学法人人事給与マネジメント改革に関するガイドライン等に対応したものに更新した。
- ・ テニユアトラック制度について、本学における同制度の在り方を検討し、「国立大学法人上越教育大学テニユアトラック制度に関する要項」を制定した。
- ・ クロスアポイントメント制度について、適用する職員を検討し、規程を改正した。
- ・ 事務系職員の採用について、本学独自の職員採用試験を実施し、職員の採用を決定した。
- ・ 職員の年齢別構成の適正化を図ること等を目的として、早期退職募集制度に基づく早期退職希望者の募集を実施した。

② 新たな取組が求められる点や特筆すべき点

- ・ 極めて厳しい財政状況の下、人件費の計画的な抑制が重要な課題となっている。
- ・ 第4期中期計画に掲げた大学教員の業績評価の再構築等、人事給与マネジメント改革を積極的に進めていく必要がある。
- ・ 事務系職員については、県内の国立大学法人等の他機関との人事交流を推進し、事務組織の活性化を図る必要がある。